

災害対策資機材を整備し、より迅速かつ的確な救出救助を実現する (埼玉県越谷市、石川県小松市)

事業者：警察庁、埼玉県警察、石川県警察等

【埼玉県警察】
令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号

救出救助状況



【石川県警察】
令和4年8月3日からの大雨等

救出救助状況



対策名：34-1 警察における災害対策に必要な資機材に関する対策

主たる施策グループ：2-1) 自衛隊、警察、消防、海保等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足



事業名：災害対策に必要な資機材の整備

- ポイント**
- 激甚化・頻発化する気象災害をはじめとする大規模災害発生時における災害対策資機材の充実強化
 - 災害対策資機材を活用し、被災者を迅速かつ的確に救出救助

地域の概要・課題

近年、気象災害が激甚化・頻発化するとともに、南海トラフ地震等の大規模地震やそれに伴う津波の発生が具体的懸念となっています。

こうした事象に対処し、災害時における救出救助、行方不明者の捜索、被災者の安全確保等の業務に適切に対応するための災害対策資機材の充実・強化を推進する必要があります。

事業の概要

災害時における救出救助、行方不明者の捜索、被災者の安全確保等の警察活動を適切に行うため、必要な災害対策資機材（水面用サーフェスドライスーツ約2,100式※等）の整備を行いました。

※ 水面用サーフェスドライスーツは、保温効果が高く、低水温下での長時間の活動が可能

効果

警察庁が浸水等の水害対策のために各都道府県警察に整備・配分した装備資機材（水面用サーフェスドライスーツ等）を活用し、大雨に伴い発生した浸水被害により車両内部等に取り残された被災者を、警察官が迅速かつ的確に救出救助しました。

【事例：埼玉県警察】令和5年6月の大雨

【事例：石川県警察】令和4年8月の大雨



1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策
最小化する被害を防止・

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

(2) 伝達の高情報化の予測、収集・集積・